



2020年6月26日

# 『鬼滅の刃』が「動画配信作品 人気ランキング」と「観たい新作映画 ランキング」のどちらも1位を獲得

＜新型コロナウイルス流行下でのエンタテインメント消費行動に関する調査＞

エンタテインメント業界に向けたマーケティングデータ分析及びデジタルマーケティングサービスを提供している GEM Partners 株式会社（ジェムパートナーズ、所在地：東京都港区、代表取締役：梅津文）は6月13日～15日、新型コロナウイルス流行下でのエンタテインメント消費行動に関する調査の第4回（回答者数3,872人）を実施いたしました。今回はその中から、動画配信作品の人気ランキングと観たい新作映画ランキングの結果をご報告します。

## 【調査ハイライト】

- コロナ禍の今年の3月以降に動画配信サービスで鑑賞した作品のうち、『鬼滅の刃』が圧倒的な支持を集めて人気ランキング1位を獲得。「Amazonプライム・ビデオ」での鑑賞者が多数を占める。
- 映画館での鑑賞意向が最も高い新作は『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』。『コンフィデンスマンJP プリンセス編』が続く。

## 【調査データ詳細】

- コロナ禍の今年の3月以降に動画配信サービスで鑑賞した作品のうち、『鬼滅の刃』が圧倒的な支持を集めて人気ランキング1位を獲得。「Amazonプライム・ビデオ」での鑑賞者が多数を占める。

新型コロナウイルスの流行で外出の自粛意識が高まった今年の3月以降、動画配信サービスで観ておもしろかった作品としては、『鬼滅の刃』が圧倒的な支持を集めて総合1位となった。サービス別でも、『鬼滅の刃』は「ディズニープラス（ディズニードラックス）」以外の7サービスでランクインし、

「Amazonプライム・ビデオ」「Hulu」「U-NEXT」「dアニメストア」「ABEMAプレミアム」の5サービスで1位を獲得している。特に「Amazonプライム・ビデオ」では2位の「ワイルド・スピード」シリーズを大きく引き離して1位となっている。

一方、「Netflix」では『愛の不時着』『ARASHI's Diary -Voyage-』『テラスハウス』『梨泰院クラス』がランクインしており、自社オリジナル作品の訴求力の高さが伺える。

その他のランクイン作品としては、「ワイルド・スピード」「名探偵コナン」「アナと雪の女王」など人気シリーズ作品が目立った。

## 動画配信サービス 人気コンテンツランキング（総合）

順位	総合	件数	順位	総合	件数
1位	鬼滅の刃	121	13位	検察側の罪人 プリズン・ブレイク クレヨンしんちゃん シリーズ	13
2位	ワイルド・スピード シリーズ	26	16位	ハイキュー!! ウォーキング・デッド	12
3位	名探偵コナン シリーズ	25	18位	ARASHI's Diary -Voyage-	11
4位	キングダム	23	19位	君の膵臓をたべたい	10
5位	愛の不時着 かぐや様は告らせたい	18	20位	バチエラー・ジャパン SUITS/スーツ ドラゴンボール シリーズ	9
7位	東京ラブストーリー	16			
8位	JIN-仁- アナと雪の女王 シリーズ	15			
10位	ペット シリーズ テラスハウス ONE PIECE	14			

## 動画配信サービス 人気コンテンツランキング（サービス別）

\*青字：オリジナル作品

順位	Amazonプライム・ビデオ	件数	順位	Netflix	件数	順位	Hulu	件数
1位	鬼滅の刃	83	1位	愛の不時着	18	1位	鬼滅の刃	15
2位	ワイルド・スピード シリーズ	19	2位	ARASHI's Diary - Voyage-	12	2位	名探偵コナン シリーズ	11
3位	東京ラブストーリー	14	3位	鬼滅の刃	11	3位	ごくせん	6
4位	検察側の罪人 ペット シリーズ	13	4位	テラスハウス	10	4位	僕のヒーローアカデミア ウォーキング・デッド Nizi Project	5
			5位	梨泰院クラス	7			
順位	U-NEXT	件数	順位	dTV	件数	順位	ディズニープラス (ディズニードラックス)	件数
1位	鬼滅の刃	5	1位	名探偵コナン シリーズ	7	1位	アナと雪の女王 シリーズ	11
2位	天気の子 ワイルド・スピード シリーズ	3	2位	鬼滅の刃 ドラえもん シリーズ	3	2位	美女と野獣	5
順位	dアニメストア	件数	順位	ABEMAプレミアム	件数	3位	アラジン トイ・ストーリー シリーズ	4
1位	鬼滅の刃	5	1位	鬼滅の刃	4	5位	マンガロリアン ハイスクール・ミュージカル シリーズ	3
2位	ハイキュー!! かくしごと	3	2位	今日、好きになりました。	3			

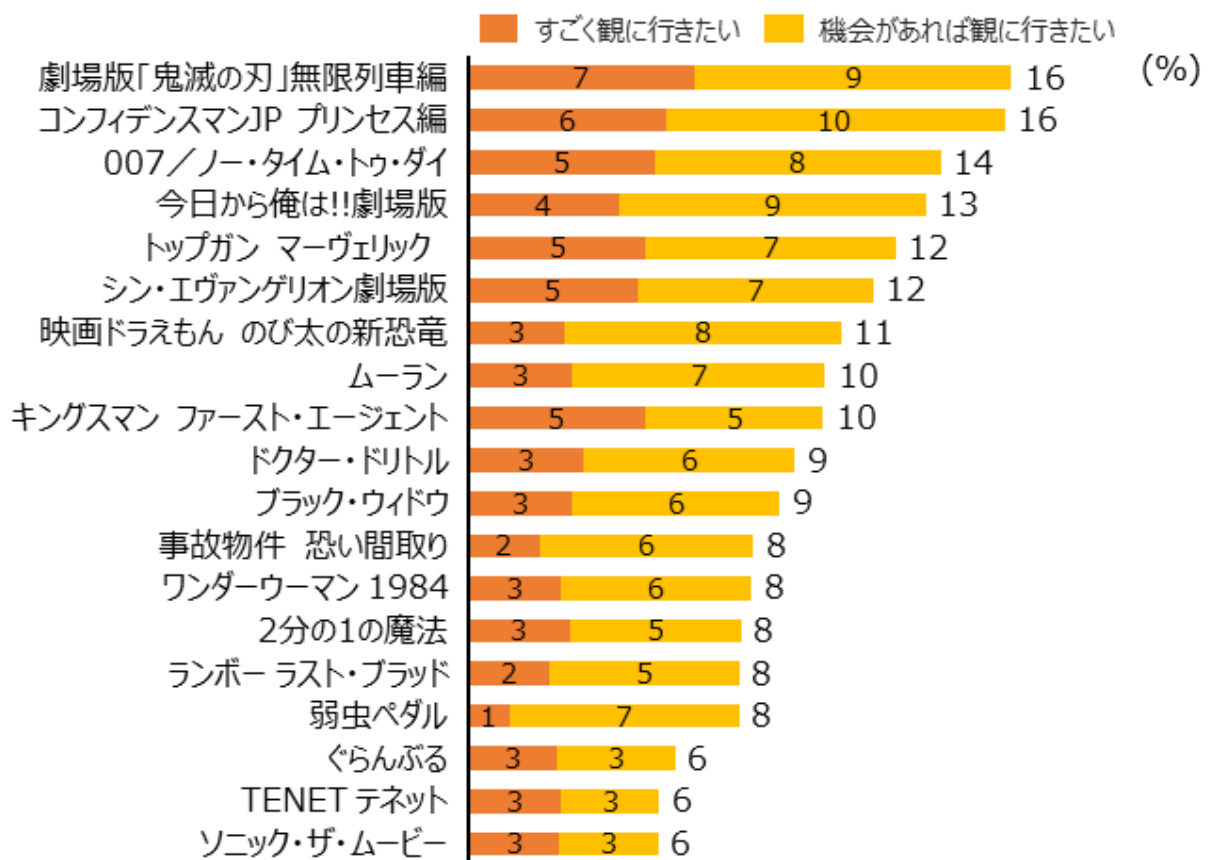
\*3件以上の回答のみ掲載

➤ 映画館での鑑賞意向が最も高い新作は『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』。『コンフィデンスマンJP プリンセス編』が続く。

今後公開が予定されている下記 19 作品のうち、年間 1 本以上映画館鑑賞者において鑑賞意向が最も高い作品は『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』（16%）。動画配信での人気ランキングに続き、コンテンツの強さが明らかとなった。鑑賞意向の 2 位は僅差で『コンフィデンスマンJP プリンセス編』（16%）、3 位は『007/ノー・タイム・トゥ・ダイ』（14%）。

『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』は「すごく観に行きたい」という強い意向も 7%と最も高く、今 1 番勢いのあるコンテンツだと言える。

### 年間1本以上映画館鑑賞者の各作品の映画館での鑑賞意向



---

GEM Partners 株式会社では、エンタテインメント業界に向けたマーケティングデータ分析及びデジタルマーケティングサービスの提供を行っております。

個別のご依頼などございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

## ■ 調査概要

【調査方法】 インターネットアンケート

【調査対象】 日本在住の 15～69 歳の男女

【調査実施日】 2020 年 6 月 13 日（土）～15 日（月）

【回答者数】 3,872 人

【数値重みづけ】 総務省発表の人口統計、弊社実施調査を参考に回答者を性年代・映画鑑賞頻度別に重みづけ

## ■ 会社概要

会社名：GEM Partners 株式会社

設立：2008 年 3 月 17 日

代表取締役：梅津 文

事業内容：エンタテインメントビジネス領域で下記に関わる一切のこと

- ・マーケティング戦略の立案と実行モニタリング
- ・デジタルマーケティング実行
- ・メディアの企画・運営

URL：<https://www.gempartners.com/>

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

GEM Partners（ジエムパートナーズ）株式会社

担当：菊池、山下

電話：03-6303-1346 メールアドレス：info@gempartners.com